



令和2年5月26日
長野県厚生農業協同組合連合会
佐久総合病院

報道関係各位

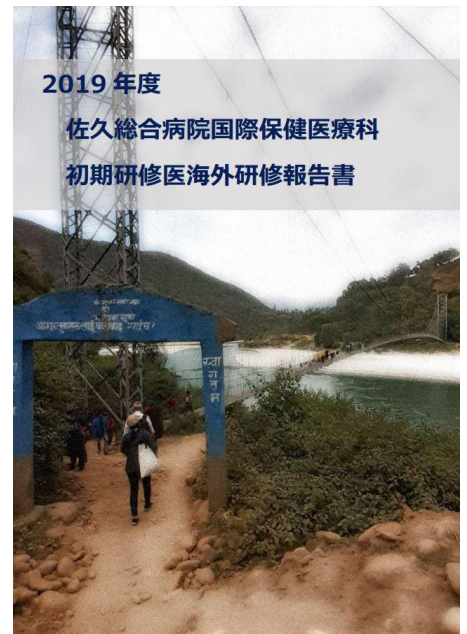
プレスリリース

元初期臨床研修医 海外研修報告書を公開
「多くの人に知ってもらいたい」

長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院（佐久市臼田、統括院長：渡辺 仁）は、2019年に国際保健医療科の海外研修に参加した初期臨床研修医が作成した『2019年度 佐久総合病院国際保健医療科 初期研修医海外研修報告書』をホームページで公開しました。研修報告書を作成したのは、2018年度から2019年度に初期臨床研修を行っていた研修医のうち、2年次に国際保健医療科研修を選択した7名です。報告書は、それぞれの研修の概要や指導医の寄稿、参加した研修医の感想などがまとめられており、A4版40ページのをPDFし佐久総合病院のホームページに公開をしています。

佐久総合病院 初期臨床研修医プログラム 国際保健医療科の海外研修について

当院では2016年から初期臨床研修において希望者を対象に、2年次に国際保健医療科の海外研修が行われています。主な目的は、住民が主体的に健康問題に取り組むプライマリ・ヘルス・ケアの概念についてその必要性を途上国の医療現場で体験し、習得することにあります。2019年はフィリピンとネパールで計7人の当時の初期臨床研修医2年目が研修に参加しました。



経緯

毎年、海外研修の後には研修報告会を開催し、発信する場はありました。しかしながら、こうした研修を初期臨床研修で行う施設は全国的に非常に珍しいことであること、また、参加した研修医が2週間の研修でしか得ることのできなかつた学びを得ることができたことを実感し、この研修について対外的に発信する必要性を感じたため、初期臨床研修医が自主的に研修報告書の作成をする運びとなりました。

コメント

2年間の貴重な初期臨床研修期間のうち、実際の2週間の研修に加え、研修前の準備時間を費やすことに対する批判的意見はあります。研修で得たものは、明日の診療にすぐ活かせるものではないかもしれませんが、しかし研修を通して得たものは、医師としての価値観の礎となるものであると確信しています。報告書を通じて、当研修にそれほどの価値があることを広く知って欲しいと思います。医学生や医師を志す人には、少しでも国際保健医療やプライマリ・ヘルス・ケアについて知ってもらい、初期臨床研修中に海外で研修をすることに秘められた可能性を、感じ取ってもらえれば幸いです。

佐久総合病院内 URL <http://www.sakuhp.or.jp/ja/globalhealth/004274.html>

【報道機関からの本件に関するお問い合わせ先】

佐久総合病院 秘書広報課

月～金曜日 8時30分～17時00分

TEL 0267-82-3131（代表） FAX 0267-82-7533